

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅲ-3-2 男女共同参画の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 男女共同参画室長 塩冶 朋江 電話番号 0852-22-5243

事務事業の名称	女性の参画促進・人材育成事業	
目的	(1) 対象	県内の女性
	(2) 意図	社会のあらゆる分野における活動への参画を促進する
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・県の政策・方針決定過程における男女共同参画の推進のため、各審議会等への女性委員の登用を促進する。 ・地域における女性の人材育成のため、男女共同参画サポーターへの研修やしまね女性ファンなどの事業を実施する。 	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	審議会等への女性の参画率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		40.00	40.00	40.00	40.00	
式・定義	県の各機関が設置する審議会等の男女委員の比率	実績値	41.00	41.30	42.30	43.50		%	
		達成率		103.30	105.70	108.80		%	
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
								目標値	0.00
式・定義	実績値	0.00	0.00	0.00			%		
	達成率		0.00	0.00			%		

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	3,833	16,080
うち一般財源(千円)	3,833	16,080

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・平成26年度の県の審議会等への女性の参画率実績値は43.5%であり、目標とする40%を維持している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・県の審議会等への女性の参画率を高めるよう、各部局への積極的な働きかけを継続してきた結果、女性委員の比率は40%を維持しつつ年々増加し、女性参画率40%を達成した審議会等の数も増えてきている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・県の審議会等全体における女性の参画率は40%台であるものの、個別ではまだ40%に達していない審議会等もある。

②困っている状況が発生している「原因」

・委員が充て職となっており、選任に当たり県の裁量の余地が少ない。
・法令等で構成員資格が規定されており、その要件を満たす女性の数が非常に少ないことなどによる、専門的分野における女性の人材不足。

③原因を解消するための「課題」

・委員が充て職であることから40%の達成が困難な審議会等については、これまでの委員構成の見直しを行うことが必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・女性の登用について関係団体・推薦団体等の理解を得たうえで、委員改選期などに併せ委員構成の見直しを実施し、40%達成に向け女性委員の選任を進めるよう各部局へ働きかけていく。
・各専門分野における女性人材リストの登録者を増やし、充実を図ると同時に、各部局へその活用を呼びかけていく。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）